

第 321 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 28 年 5 月 10 日 (火) 11:50～12:50
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix みんなの 19HR!
[放送日時] 平成 28 年 4 月 14 日 (木) 19:00～20:55
[出演者] 加藤ジュン、高橋茉奈
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信
委員 山本りさ 委員 服部乃利子
- [会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部次長 鈴木秀明
編成制作部副部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 藤枝サテライト特番実施報告
- V-LOW 試験電波開始の件
- 地震などに伴う差し替え作業報告

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix みんなの 19HR!
- [放送日時] 平成 28 年 4 月 14 日 (木) 19:00～20:55
- [出演者] 加藤ジュン、高橋茉奈
- [番組内容] 加藤ジュンに加え、K-mix の若手パーソナリティ高橋茉奈が仲間入り！より 10 代にフォーカスします。

[聴取・合評での主な意見]

山本委員

加藤は、以前審議した際は「上から目線」のしゃべりが散見されたが、今回は例えるならば「教育実習の先生」然の雰囲気と変わっていて、好印象。2 人の掛け合いも早すぎずに良い。生徒の声で始まるリクエスト。曲の後半に生徒本人が再登場する構成は良い。番組全体を通じての流が良いと感じた。

服部委員

パーソナリティ 2 人の明るい声のトーンが良い。ゲストとのやりとり、コメント、相槌のタイミングなどもテンポが良い。特に、高橋に好感を持った。加藤がお兄さんの立ち位置なのに対し、高橋はもう少しターゲット層に近く、2 人のバランスは良い。しかし、テーマ内の「リア充」「非リア充」という言葉は、一部聞き取りづらかった。

木宮委員長

2 人の掛け合いが良いバランス・良いテンポ。役割分担もできている。テーマ設定について、これはこれで良いが、「戦い」というコンセプトの割には、「オレンジデイ」も「ブラックデイ」も本質的には一緒のため、結果的に対決になっていない。本当に対決にしたいのであれば、対立軸となる得るテーマ選びをしてほしい。また、番組ターゲットが中高生ということであれば、パーソナリティが使う「学生」は、字義としてあてはまらず、「生徒」である。また「記念日がある日」という表現も、国語的に気になる言いまわしだ。番組全体としては、聴き易く、時間帯とリスナー層も合っている。良い番組だ。

会社サイド

前回(第 320 回)では、DJ の成長を感じて頂いたものの、リスナーを置いてけぼりにした独善的な番組進行について、ご意見頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成 28 年 6 月 7 (火) 11:50~13:00 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信